

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツ振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	11	各種委員に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	2,342千円	2,871千円	0千円	0千円
	総人件費	6,064千円	11,435千円	0千円	
	総事業コスト	8,406千円	14,306千円	0千円	

事務事業名	01 スポーツ推進委員協議会				指標名	イベント等協力・参加者数(延べ)				指標種別	活動結果指標			指標の概要	市が開催するイベント等において協力、参加したスポーツ推進委員数	
	戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
					実績	294人	300人	300人	300人	300人	300人	300人				
						307人	247人	269人								
総合戦略	-				H28年度				H29年度				その他の指標	-		
個別計画	スポーツ基本計画 つくば市スポーツ推進計画				改善目標	平成29年度委嘱に向け、推進委員の活性化、若返りを図り円滑に世代交代ができるよう、人材を発掘し選任する。				改善目標	-					
根拠法令等	スポーツ基本法 つくば市スポーツ推進委員規則				事業計画	・市主催事業(つくば学園ウオークラリー大会、つくばマラソン、つくば健康マラソン)係員協力。 ・県南スポーツ推進委員協議会研修会、県スポーツ推進委員協議会女性研修会、関東スポーツ推進委員協議会研究大会等に参加。				事業計画	平成29年度からは、予算事業名「スポーツ振興に要する経費」へ統合して事業を実施。					
事業分類	C 義務的事業				活動実績	・つくば市スポーツ推進委員選考基準に関する要項の策定 ・市主催事業(つくば学園ウオークラリー大会、つくばスポーツフェスティバル、つくばマラソン、つくば健康マラソン)に事業協力。 ・市スポーツ推進委員研修会、県南スポーツ推進委員協議会研修会、県スポーツ推進委員協議会女性研修会、全国スポーツ推進委員研究協議会等に参加。				上半期活動実績	-					
執行体制	職員のみ				成果	・つくば市スポーツ推進委員選考基準に関する要項に、年齢要件を設定し、課題の改善を目指す要項とした。 ・市が開催するスポーツイベント等への協力により、円滑な大会運営が出来た。 ・市体育協会と連携し、地域スポーツ活動の企画・立案・実施等、地域のスポーツ振興に寄与している。				上半期成果	-					
事業の目的	市が開催するイベント等において企画、助言、協力をし、また市民に対し実技指導を行いつくば市の体育振興に貢献するため。				課題	-				課題	-					
事業の概要	市主催の事業へ参加協力し、全国、関東、県、県南の各協議会への委員の派遣を行う。 また、地域住民へのスポーツ推進のためイベント等の企画立案に参画する。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-		
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H30年度の方向性	-	理由	-
	H29環境関連性	-	-	-		効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-					
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	2,342千円	2,871千円	0千円	0千円
	総人件費	6,064千円	11,435千円	0千円	
	総事業コスト	8,406千円	14,306千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツ振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	11	各種委員に要する経費

事務事業名		02 スポーツ推進審議会事業		指標名	スポーツ推進審議会開催数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	スポーツ推進審議会を開催した数 (平成29,30年度は、スポーツ推進計画の見直しを検討するため審議会開催数を増やします。)
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		
実績		- - - -			1回	2回	2回	3回	6回	2回	2回		
総合戦略		- - - -		実績	1回	2回	1回					その他の指標	-
個別計画		スポーツ基本計画 つくば市スポーツ推進計画		H28年度				H29年度					
根拠法令等		スポーツ基本法 つくば市スポーツ推進審議会条例		改善目標	-				改善目標	-			
事業分類		C 義務的事業		事業計画	つくば市スポーツ推進計画の進行管理やスポーツ事業等について審議、提言、助言を施策の参考にする。				事業計画	平成29年度からは、予算事業名「スポーツ振興に要する経費」へ統合して事業を実施。			
執行体制		職員のみ		活動実績	・9月27日：スポーツ推進審議会を開催 【内容】平成27年度つくば市スポーツ推進計画進行管理について他 なお、上記の審議会においてスポーツ推進審議会委員からの意見を受け、2月10日に庁内のスポーツ関連部局によるスポーツ推進会議を開催した。				上半期活動実績	-			
事業の目的		つくば市長の諮問機関として、有識者及びスポーツ専門家から、つくば市スポーツ推進に関する施策について意見を求め、提言、助言を施策の参考にするため。		成果	つくば市スポーツ推進計画に掲げた各施策の進捗について審議し、意見を伺った。 また、スポーツ推進審議会の意見を受け、スポーツ推進会議において、審議会委員の意見についての今後の対応等について協議することにより、各スポーツ事業見直しの参考にすることができた。				上半期成果	-			
事業の概要		つくば市が実施するスポーツ推進の施策について意見を求め、提言、助言を施策の参考にする。		課題	-				課題	-			
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-
ISO 14001		H29環境関連性		評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-		
					効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-		
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-		
				事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初				
				事業費(A)		174千円	82千円	0千円	0千円				
				国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円				
				県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円				
				地方債		0千円	0千円	0千円	0千円				
				その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円				
				一般財源		174千円	82千円	0千円	0千円				
				人件費(B)		2,627千円	6,106千円	0千円					
				正職員		従事割合	0.35人	0.80人	0.00人				
				内職		時間外勤務	10.00時間	61.00時間	0.00時間				
				臨時職員等		無	無	-					
				事業コスト(A+B)		2,801千円	6,188千円	0千円					
				H30年度当初積算根拠		-							
				H30年度当初積算根拠		-							
				理由		-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	20,893千円	20,201千円	29,298千円	0千円
	総人件費	4,552千円	7,701千円	15,300千円	
	総事業コスト	25,445千円	27,902千円	44,598千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツレクリエーション係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	11	スポーツ振興に要する経費

事務事業名	01	つくばスポーツフェスティバル開催事業	指標名	参加者数				指標種別	成果指標	指標の概要	スポーツフェスティバルに参加した人数	
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
			目標値	650人	700人	700人	700人	700人	700人	700人	700人	
総合戦略	1	5	実績	614人	560人	882人						
			H28年度				H29年度				その他の指標	-
個別計画	つくば市スポーツ推進計画		改善目標	スポーツを通しての交流の促進を目指し、「するスポーツ」を重視した事業内容を企画する。				改善目標	-			
根拠法令等	スポーツ基本法		事業計画	市民参画のスポーツ事業の実施 市内プロチームや大学等と連携した事業の展開				事業計画	平成29年度からは、予算事業名「スポーツ大会開催に要する経費」へ統合して事業を実施。			
事業分類	A 任意的事業		活動実績	9月17日(土)つくばカピオで子どもから大人までを対象 1 筑波大学体操部等によるラート演技 バランスポール等の遊具体験 ソフトバレーボール バドミントン サッカースピードガンによる計測 よさこいソーラン ボルダリング 2 大人のスポーツテスト 3 スポーツ健康講座 「食事の栄養バランス」の講義45分間、熱中症の放映15分、最後に質疑応答を実施。 参加者：体験会796人(うち104人スポーツテスト)健康講座86人 合計882人				上半期活動実績	-			
執行体制	職員のみ		成果	目標を上回る882人の参加があり、スポーツを通じて人と人との交流が深められた。また、スポーツを楽しみながら体験できたことで、スポーツへの関心が高まり、健康社会の実現にも寄与できた。				上半期成果	-			
事業の目的	スポーツを楽しむ、学ぶ機会を提供するスポーツイベントを開催し、スポーツを通して人と人との交流を深め、つながりを促進するため。		課題	-				課題	-			
事業の概要	市内大学、プロチーム等と連携したスポーツイベントを開催する。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-		
ISO 14001	H28環境関連性	-	有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している				有効性	-			
	H29環境関連性	-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
			総合評価	A：成果を維持して継続実施				総合評価	-			
			正職員	従事割合	0.52人	0.52人	0.00人					
			内訳	時間外勤務	35.00時間	35.00時間	0.00時間					
			臨時職員等	無	無	-						
			事業コスト(A+B)	5,815千円	5,123千円	0千円						
			H30年度当初積算根拠	-								
			H30年度の方向性	-	理由	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	20,893千円	20,201千円	29,298千円	0千円
	総人件費	4,552千円	7,701千円	15,300千円	
	総事業コスト	25,445千円	27,902千円	44,598千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツ振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	11	スポーツ振興に要する経費

事務事業名	02	つくば市体育協会等補助	指標名	会員数	指標種別	活動結果指標	指標の概要	つくば市体育協会会員数 (専門部, スポーツ少年団会員数)					
戦略プラン	-	-	目標値	H26年度 9,000人	H27年度 9,000人	H28年度 9,000人	H29年度 9,000人	H30年度 9,000人	H31年度 9,000人	H32年度 9,000人			
総合戦略	-	-	実績	9,226人	9,135人	9,266人							
個別計画	つくば市スポーツ推進計画		改善目標	H28年度		H29年度		その他の指標	つくば市レクリエーション協会会員数: 26人				
根拠法令等	スポーツ基本法		事業計画	つくば市体育協会及びつくば市レクリエーション協会に補助金を交付し、活動を支援する。 【つくば市体育協会】 社会人を対象にしたスポーツ専門部会, 少年少女を対象にしたスポーツ少年団, 地域住民を対象にしたスポーツ振興会において、スポーツ、レクリエーション事業を実施する。 【つくば市レクリエーション協会】 様々な団体等が実施するイベントに参加し、レクリエーション活動を提供する。		つくば市体育協会及びつくば市レクリエーション協会に補助金を交付し、活動を連携協力し支援する。 【つくば市体育協会】 社会人を対象にしたスポーツ専門部会, 少年少女を対象にしたスポーツ少年団, 地域住民を対象にしたスポーツ振興会において、スポーツ、レクリエーション事業を実施する。 【つくば市レクリエーション協会】 様々な団体等が実施するイベントに参加し、レクリエーション活動を提供する。		事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業分類	E 補助金・負担金事業		活動実績	【つくば市体育協会】 21種目のスポーツ専門部(290団体), 16種目のスポーツ少年団(97団体), スポーツ振興会において大会や講習会等を行った。 また、本部事業として、リーダー養成講習会やスポーツ鬼ごっこの推進活動を実施した。 【つくば市レクリエーション協会】 児童館まつりや地区子ども会等に参加協力し、ゲームやコマづくりなどのレクリエーション活動を行った。		上半期活動実績		内訳	事業費(A)	19,035千円	19,035千円	19,035千円	0千円
執行体制	補助金(直接)		成果	団体のスポーツ活動を通して、市民のスポーツ・レクリエーション活動を促進し、健康の増進と体力の向上、健康で明るく活力のあるまちづくりに寄与した。		上半期成果		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	市民のスポーツ活動や交流を促進させる団体の組織基盤を強化し、地域のスポーツ活動を推進するため。		課題	つくば市体育協会については、財政援助団体等監査(平成28年度実施)において、組織運営や会計処理の手続き等について指摘を受けた。		課題		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	スポーツレクリエーション活動を展開するつくば市体育協会及びつくば市レクリエーション協会に補助金を交付し、活動を支援する。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		事業の進捗状況	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
H28環境関連性	-	-	有効性	中: 適切な成果が得られている			有効性	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
H29環境関連性	-	-	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	-	-	総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
								一般財源	19,035千円	19,035千円	19,035千円	0千円	
								人件費(B)	595千円	3,744千円	2,283千円		
								正職員	0.08人	0.50人	0.30人		
								時間外勤務	0.00時間	11.00時間	20.00時間		
								臨時職員等	無	無	無		
								事業コスト(A+B)	19,630千円	22,779千円	21,318千円		
								H30年度当初積算根拠					
								H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	20,893千円	20,201千円	29,298千円	0千円
	総人件費	4,552千円	7,701千円	15,300千円	
	総事業コスト	25,445千円	27,902千円	44,598千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツ振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	11	スポーツ振興に要する経費

事務事業名	03	スポーツ推進計画策定検討業務	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-									
戦略プラン	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-						
総合戦略	-	-	実績	-	-	-	-				-						
個別計画	つくば市スポーツ推進計画		改善目標	H28年度			H29年度			その他の指標	-						
根拠法令等	スポーツ基本法		事業計画	-			つくば市スポーツ推進計画の中間年度(平成30年度)に見直しを行うため、その基礎資料として、情報収集などを行う。 ・スポーツ活動調査(アンケート)を実施 ・現つくば市スポーツ推進計画の課題等の抽出 ・国県等の関連計画、先進事例の情報収集など			事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初			
事業分類	A 任意的事業		活動実績	-			上半期活動実績			内訳	事業費(A)	0千円	0千円	4,958千円	0千円		
執行体制	一部委託		成果	-			上半期成果			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	つくば市スポーツ推進計画において位置づけられている中間年度(平成30年度)の計画の見直しを検討するため。		課題	-			課題			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要	次年度の計画見直しの基礎資料として、情報の収集などを行う。 ・スポーツ活動調査(アンケート)の実施 ・つくば市スポーツ推進計画課題の抽出 ・国県等の関連計画、先進事例の情報収集など		評価	有効性	-	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性	-	評価	効率性	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	H29環境関連性	-	評価	総合評価	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	一般財源	0千円	0千円	4,958千円	0千円	
												人件費(B)	0千円	0千円	4,538千円		
												内訳	正職員	従事割合	0.00人	0.00人	0.60人
													時間外勤務	0.00時間	0.00時間	30.00時間	
													臨時職員等	-	-	無	
													事業コスト(A+B)	0千円	0千円	9,496千円	
													H30年度当初積算根拠	-	-	-	
													H30年度方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	20,893千円	20,201千円	29,298千円	0千円
	総人件費	4,552千円	7,701千円	15,300千円	
	総事業コスト	25,445千円	27,902千円	44,598千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツ振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	11	スポーツ振興に要する経費

事務事業名	04	スポーツ推進委員協議会	指標名	イベント等協力・参加者数(延べ)				指標種別	活動結果指標			指標の概要	市が開催するイベント等において協力,参加したスポーツ推進委員数						
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
					294人	300人	300人	300人	300人	300人	300人								
総合戦略	-	-	-	-	実績	307人	247人	269人				その他の指標	-						
個別計画	スポーツ基本計画 つくば市スポーツ推進計画				H28年度				H29年度				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初		
根拠法令等	スポーツ基本法 つくば市スポーツ推進委員規則				改善目標	-				改善目標	-				事業費(A)	0千円	0千円	4,905千円	0千円
事業分類	C 義務的事業					事業計画	予算事業名「各種委員に要する経費」と「スポーツ振興に要する経費」を統合。 28年度は「各種委員に要する経費」の「01スポーツ推進委員協議会」のシートに記載。				事業計画	・市主催事業(つくば学園ウオークラリー大会,つくばスポーツフェスティバル,つくばマラソン,つくば健康マラソン)への係員協力。 ・つくば市スポーツ推進委員研修会,県南スポーツ推進委員協議会研修会,県スポーツ推進委員協議会女性研修会に参加。 ・つくば市で開催される全国スポーツ推進委員研究協議会茨城大会への協力,参加。				国庫支出金	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ				活動実績		-					上半期活動実績	-				県支出金	0千円	0千円
事業の目的	市が開催するイベント等において企画,助言,協力をし,また市民に対し実技指導を行いつくば市の体育振興に貢献するため。					成果	-				上半期成果		-				地方債	0千円	0千円
事業の概要	市主催の事業へ参加協力し,全国,関東,県,県南の各協議会への委員の派遣を行う。また,地域住民へのスポーツ推進のためイベント等の企画立案に参画する。				課題		-					課題	-				その他特財	0千円	0千円
																一般財源	0千円	0千円	4,905千円
														人件費(B)	0千円	0千円	3,848千円		
														正職員	従事割合	0.00人	0.00人	0.50人	
														内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	50.00時間	
														臨時職員等	-	-	無		
														事業コスト(A+B)	0千円	0千円	8,753千円		
														H30年度当初積算根拠	-				
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-							
	H29環境関連性	-	-	-	評価	有効性	-	評価	有効性	-									
						効率性	-		効率性	-									
						総合評価	-		総合評価	-									
														H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	20,893千円	20,201千円	29,298千円	0千円
	総人件費	4,552千円	7,701千円	15,300千円	
	総事業コスト	25,445千円	27,902千円	44,598千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツ振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	11	スポーツ振興に要する経費

事務事業名		05 スポーツ推進審議会事業		指標名	スポーツ推進審議会開催数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	スポーツ推進審議会を開催した数 (平成29,30年度は、スポーツ推進計画の見直しを検討するため審議会開催数を増やします。)												
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度															
実績		- - - -		実績	1回	2回	2回	3回	6回	2回	2回															
総合戦略		- - - -		H28年度				H29年度				その他の指標	-													
個別計画		スポーツ基本計画 つくば市スポーツ推進計画		改善目標	-				改善目標	-																
根拠法令等		スポーツ基本法 つくば市スポーツ推進審議会条例		事業計画	予算事業名「各種委員に要する経費」と「スポーツ振興に要する経費」を統合。 28年度は「各種委員に要する経費」の「02スポーツ推進審議会事業」のシートに記載。				事業計画	スポーツ審議会を年度内3～4回開催する予定。 【6月1日】第1回つくば市スポーツ推進審議会開催予定 平成28年度つくば市スポーツ推進計画の進行管理及びつくば市スポーツ推進計画策定検討。 【8月】つくば市スポーツ推進審議会委員委嘱状交付 【9月】第2回つくば市スポーツ推進審議会開催予定 【2月】第3回つくば市スポーツ推進審議会開催予定				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初								
事業分類		C 義務的事業			活動実績	-				上半期活動実績	-				事業費(A)	0千円	0千円	400千円	0千円							
執行体制		職員のみ		成果		-					上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円						
事業の目的		つくば市長の諮問機関として、有識者及びスポーツ専門家から、つくば市スポーツ推進に関する施策について意見を求め、提言、助言を施策の参考にするため。			課題	-				課題		-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円						
事業の概要		つくば市が実施するスポーツ推進の施策について意見を求め、提言、助言を施策の参考にする。		-				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円										
ISO 14001	H28環境関連性	-		事業の進捗状況		-		改善目標の進捗状況		-		事業の進捗状況		-		改善目標の進捗状況		-		内訳	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	H29環境関連性	-		有効性		-		有効性		-		有効性		-		一般財源		0千円			0千円		400千円	0千円		
				評価		効率性		-		-		評価		効率性		-		-		人件費(B)		0千円	0千円	4,631千円		
				総合評価		-		-		-		総合評価		-		-		-		正職員		従事割合	0.00人	0.00人	0.60人	
																				内職		時間外勤務	0.00時間	0.00時間	65.00時間	
																				臨時職員等		-	-	無		
																				事業コスト(A+B)		0千円	0千円	5,031千円		
																				H30年度当初積算根拠		-				
																				H30年度方向性		-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	9,395千円	5,866千円	7,044千円	0千円
	総人件費	14,672千円	14,472千円	3,849千円	
	総事業コスト	24,067千円	20,338千円	10,893千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツレクリエーション係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	12	スポーツ教室開催に要する経費

事務事業名	01	スポーツ教室開催事業	指標名	スポーツ教室参加人数(延べ)				指標種別	活動結果指標			指標の概要	各種スポーツ教室の参加人数		
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
総合戦略	1	5	スポーツの振興	実績	1,381人	1,105人	1,271人					その他の指標	-		
個別計画	つくば市スポーツ推進計画			H28年度				H29年度							
根拠法令等	スポーツ基本法			改善目標	国体のPRも兼ねた教室や新たな教室も含めて、引続きすすめていく。				改善目標	国体のアーチェリー以外の種目も教室開催できるよう準備し、新たな教室も含めて、引続きすすめていく。					
事業分類	A 任意的事業			事業計画	キックボクシング(公募による新規) 5回 アフロリズムダンス(公募による新規) 4回 アーチェリー教室(新規 国体正式競技) 6回 トレイルラン 4回 太極拳 8回 ゴルフ 8回 バレーボール 8回 子どもの水泳 5回 大人のラート 3回 子どものラート体験 1回 合気道 8回 子どものスキー 2泊3日				事業計画	カポエイラ(公募による新規) 5回 体感トレーニング(公募による新規) 4回 スポーツ鬼ごっこ(国体デモ部門) 1回 ストリートダンス(国体デモ部門新規) 4回 アーチェリー(国体正式) 4回×2回 トレイルラン 4回、アフロリズムダンス 4回、子どものラート 1回、子どものバレーボール 1回、大人のバレーボール 3回、大人のラート 3回、子どものスキー(2泊3日)					
執行体制	一部委託			活動実績	【参加者延べ人数】 合気道 76名、トレイルラン 87名、太極拳 214名、ゴルフ 210名、アフロリズムダンス 59名、子どもの水泳 32名、キックボクシング 178名、バレーボール121名、アーチェリー 82名、大人のラート 62名、子どものラート 10名、子どものスキー 140名				上半期活動実績	-					
事業の目的	市民のスポーツ振興の啓発、市民どうしが交流できる環境の提供及び市民の健康づくりを図るため。			成果	計画通り12種類の教室を実施し、スポーツを始めるきっかけを提供した。新規のアフロリズムダンスは、教室参加者によりクラブを作り今後も継続して続けていく動きもみられた。				上半期成果	-					
事業の概要	市民を対象に広報誌・つくば市HP・facebook・地域情報紙等で募集を行い、各教室を開催する。			課題	H28年度は、国体正式競技のアーチェリー教室を開催したが、他の種目もあることから公募も含めて新規教室を検討する。				課題	-					
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-		
	H29環境関連性	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-					
				評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-					
				評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-		H30年度の方向性	-	理由	-



予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	21,412千円	22,998千円	26,249千円	0千円
	総人件費	27,698千円	17,620千円	21,283千円	
	総事業コスト	49,110千円	40,618千円	47,532千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツレクリエーション係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	13	スポーツ大会開催に要する経費

事務事業名	01	各種スポーツ大会開催事業			指標名	つくばマラソン出走者数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくばマラソンに出走したランナーの数	
戦略プラン	3	1	スポーツの振興		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
総合戦略	1	5	スポーツの振興		実績	13,763人	15,728人	15,426人					その他の指標	その他の大会参加者数
個別計画	つくば市スポーツ推進計画				H28年度				H29年度					
根拠法令等	スポーツ基本法				改善目標	(つくばマラソン) 昨年は大会時に交通調査を実施しており、その結果を、今後のマラソンコース計画の検討に反映させる。また、廃棄物発生抑制として、マラソン開催時にごみの分別を実施します。				改善目標	(つくばマラソン) 悪天候時の多目的グラウンドの対策と利用方法を考える。また、ウェーブスタート、陸連登録エリア(Aブロック)の制限タイムがBブロックよりも遅くなっており、スタート時の安全性について検討する。			
事業分類	E 補助金・負担金事業				事業計画	(つくばマラソン) 大会テーマである「マラソンを科学する」を継続し、次年度はまた新たな「科学する」テーマを定め、更なる大会の発展を目指す。 (その他の大会) 健康マラソン、つくば学園ウォークラリー、市長杯サッカー、市長杯オープンテニス、スポーツ鬼ごっこ、荒川区交流野球、TX沿線自治体交流サッカー				事業計画	(つくばマラソン) 大会テーマである「マラソンを科学する」を継続し、37回大会は新たな「科学する」テーマを定め、更なる大会の発展を目指す。 (その他の大会) 健康マラソン、つくば学園ウォークラリー、市長杯サッカー、市長杯オープンテニス、スポーツ鬼ごっこ、荒川区交流野球、TX沿線自治体交流サッカー、スポーツフェスティバルなど			
執行体制	職員のみ				活動実績	(つくばマラソン) 平成28年11月20日(日)開催：参加者【15,426人参加】 先導車等に3台の水素燃料電池自動車を使用するとともに、主会場に資源分別ステーション設置するなど、エコマラソンの推進を図った。 「マラソンを科学する」の取組では、「給水・給食」をテーマとした。疲労を防ぐ抗酸化物質が多く含まれるつくば産ブルーベリー等を給水所で提供し、記録の向上につなげた。また、地産池消にも繋がるよう心掛けた。 (その他の大会) 健康マラソン【1,687人】、つくば学園ウォークラリー【416人】、市長杯サッカー【U15・18】、市長杯オープンテニス【プロ及び県内トップ選手】、スポーツ鬼ごっこ【256人】、荒川区交流野球【少年野球4チーム】、TX沿線自治体交流サッカー【中学生4チーム】				上半期活動実績	-			
事業の目的	(つくばマラソン)市民のスポーツへの意識高揚を図るとともに、つくば市及び全国のランナーの技術向上と交流の場提供のため。 (その他の大会) 各種スポーツ大会を開催することにより、スポーツに対する意識の高揚をはかるとともに、つくば市のPRに努め、スポーツのまちづくりに寄与するため。				成果	(つくばマラソン) 36回大会は、昨年のスタート通過人数と時間を検証した結果、3ウェーブから4ウェーブへ変更したことで、よりスムーズなスタート環境を整えることができた。 (その他の大会) 健康マラソンの申込方法に「ネット申込」を追加したことで、参加者の利便性が向上し、過去最高の出走者数となった。【1,687人】				上半期成果	-			
事業の概要	(つくばマラソン)つくば市、筑波大学、茨城陸上競技協会及び読売新聞社が主催し、筑波大学陸上競技場・多目的グラウンドを中心会場とした日本陸上競技連盟公認コースにおいて、42.195Kmの部、10Kmの部を開催。 (その他の大会) 健康マラソン【2,3,5km】、つくば学園ウォークラリー【グループ歩行】、市長杯サッカー【U15・18】、市長杯オープンテニス【プロ及び県内トップ選手】、スポーツ鬼ごっこ【U9・12】、荒川区交流野球【少年野球】、TX沿線自治体交流サッカー【中学生】、つくばスポーツフェスティバル				課題	(つくばマラソン) 36回大会で前日雨が降り、出展ブース、トイレなどを設置した多目的広場が修繕が必要なほどぬかるんでしまった。37回大会は、対策が必要である。				課題	-			
ISO 14001	H28環境関連性	廃棄物発生抑制		達成	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-
	H29環境関連性	廃棄物発生抑制		達成	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-				
		つくばマラソン時のごみの分別			効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			H30年度の方向性	-
		つくばマラソン時のごみの分別			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	224,467千円	300,699千円	288,592千円	0千円
	総人件費	11,278千円	23,704千円	23,025千円	
	総事業コスト	235,745千円	324,403千円	311,617千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	施設管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	02	11	体育施設維持管理に要する経費

事務事業名	01	体育施設維持管理事業(グラウンド・テニスコート・柔剣道場・体育館)	指標名	利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	体育施設17施設の利用者数		
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	
戦略プラン	-	-	-	406,000人	406,000人	406,000人	406,000人	406,000人	406,000人	406,000人			
総合戦略	-	-	-	実績	414,912人	394,570人	390,527人						
				H28年度				H29年度					
個別計画	-	-	-	改善目標	既存施設の大規模改修とまでは至らないが、利用者の安全面を考慮し、優先順位を設けて順次改修及び修繕を行っていく。また、平成29年度の指定管理制度の導入に向けて、検討を行う。				改善目標	体育施設における指定管理者制度の導入に関する方向性を定める。 体育施設の耐震診断の実施。 既存施設の大規模改修とまでは至らないが、利用者の安全面を考慮し、優先順位を設けて順次改修及び修繕を行っていく。			
				事業計画	体育施設における指定管理者制度の導入準備(平成29年4月導入予定)。 施設が老朽化しており、今後必要修繕箇所が確実に増えることが予測されるため、利用者の安全性を確保するために修繕等の維持管理を行っていく。 ・谷田部多目的広場改修工事(6月から) ・豊里柔剣道場耐震補強改修工事(8月頃から) ・谷田部テニスコート改修工事(10月頃) ・各体育館雨漏り修繕工事(5月頃から順次)				体育施設の指定管理者制度導入に関する関係各課との協議。 つくば市耐震改修促進計画に関する会議に出席し、補助金活用等の情報を収集する。 施設の老朽化が進んでいるため、今後必要修繕箇所が確実に増えることが予測されることから、利用者の安全性を確保するために修繕等の維持管理を行っていく。 ・桜総合体育館受変電用真空遮断器等更新工事(10月頃) ・谷田部総合体育館受変電用真空遮断器等改修工事(10月頃) ・谷田部野球場高圧ケーブル・照明配管改修工事(10月頃) ・豊里テニスコートクラック補修工事(8月頃) ・豊里多目的広場グラウンド改修工事(9月頃)				
根拠法令等	つくば市体育施設条例			事業計画					事業計画				
事業分類	A 任意的事業			活動実績	平成29年4月1日から指定管理者制度を導入することで事務を進め、12月市議会定例会に指定管理者の指定を上程した。 施設維持管理：修繕工事32件、土木工事1件、耐震補強改修工事1件を実施した。また、修繕工事以外に施設等修繕58件、備品修繕7件を実施。 主な修繕工事：谷田部テニスコート人工芝張替・防球フェンス改修工事、桜総合体育館屋根雨漏り修繕工事、豊里体育館男女更衣室改修工事、谷田部総合体育館トレーニングルーム床(ゴムマット)設置工事等。土木工事は、谷田部多目的広場グラウンド整地工事、耐震補強改修工事は豊里柔剣道場。				上半期活動実績	-			
執行体制	一部委託			成果	施設維持管理については、利用者の安全性を確保するための修繕及び修繕工事を実施することができた。また、今後の必要修繕箇所についても、概ね把握することができた。				上半期成果	-			
事業の目的	近年の体育施設利用状況をみると、体育施設を利用しスポーツを行う市民は増加している。誰もが気軽にスポーツに親しみ、健康増進を図れるように体育施設を維持管理することが必要であるため。			課題	・平成29年度より導入予定であった体育施設の指定管理者制度の導入について、12月市議会定例会において否決となったことで、今後、再検討する。 ・施設が老朽化しており、今後も必要修繕箇所が確実に増えることが予測される。				課題	-			
事業の概要	体育施設17施設(体育館7, テニスコート2, 野球場2, サッカー場1, ソフトボール場1, 多目的広場3, 柔剣道場1)の維持管理を行う。			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-		
	ISO 14001	H28環境関連性	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-			
	H29環境関連性	-	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-				
			評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-				
事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	事業費(A)		137,327千円	168,490千円	196,792千円	0千円		
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	内訳							
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	地方債		0千円	0千円	0千円	0千円		
地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財		20,896千円	19,903千円	19,844千円	0千円		
一般財源		116,431千円	148,587千円	176,948千円	0千円	人件費(B)		7,509千円	16,298千円	19,309千円			
正職員	従事割合	1.00人	2.00人	2.50人	内訳								
内訳	時間外勤務	30.00時間	621.00時間	375.00時間	臨時職員等		有	有	有				
事業コスト(A+B)		144,836千円	184,788千円	216,101千円	H30年度当初積算根拠								
H30年度の方向性		-	理由	-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	224,467千円	300,699千円	288,592千円	0千円
	総人件費	11,278千円	23,704千円	23,025千円	
	総事業コスト	235,745千円	324,403千円	311,617千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	施設管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	02	11	体育施設維持管理に要する経費

事務事業名	02	ウェルネスパーク管理事業	指標名	利用者数	指標種別	成果指標	指標の概要	指定管理者によるつくばウェルネスパーク3施設の利用者数											
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
					252,000人	250,000人	250,000人	250,000人	250,000人	250,000人	250,000人								
総合戦略	-	-	-	-	実績	246,413人	257,464人	241,988人											
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-					
改善目標					改善目標	アンケート等により利用者ニーズを把握し、利用者が求める自主事業を計画し、実施する。運営面でより一層のサービス提供を行っていくことで、ウェルネスパーク全体の利用者増加につなげる。				改善目標	今後公認更新(更新は毎年)継続の必要性も考慮したうえで、人工芝の張替工事の実施時期等を検討する。								
事業実施コスト					事業計画	開場から6年が経過し、設備等の耐久年数が経過してきたため、修繕工事等の時期を把握し、パークの運営に支障をきたさないようにする。				事業計画	施設及び設備等の経年劣化が生じているため、随時、修繕工事等を行いつくばウェルネスパークの運営に支障をきたさないようにする。 【主な工事等】 ・つくばウェルネスパークサッカースタジアム防球ネット補修工事(9月頃) ・つくばウェルネスパーク殺菌剤注入ポンプ・ホース交換修繕工事(2月頃) ・つくばウェルネスパーク二方弁交換工事(6月頃)				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)					活動実績	アンケートで寄せられた全てのご意見等に対し、施設の対応を掲示する。設備・器具等の修繕：浴室排煙窓修繕工事、北側進入路路肩・歩道陥没修繕工事、自動ドア修繕、トレッドミル交換部品購入、プール用水上器具購入				活動実績	-				事業費(A)	87,140千円	90,807千円	91,800千円	0千円
国庫支出金					成果	利用者からのご意見に対し、施設としての対応を掲示することで、管理運営面でより一層のサービス提供に繋げることができた。				成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金					課題	JFA公認のロングパイル人工芝を敷設しているセキショウチャレンジスタジアムについて、年2回のメンテナンスを行ってきたが、経年により人工芝の消耗や不陸等が見受けられる。今後、公認更新の必要性があれば、人工芝の張替工事を検討していく。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
その他特財					有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-				その他特財	2,500千円	2,500千円	2,500千円	0千円
一般財源					効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-				一般財源	84,640千円	88,307千円	89,300千円	0千円
人件費(B)					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				人件費(B)	3,755千円	3,716千円	3,716千円	
正職員					事業の概要	つくばウェルネスパーク3施設(ヘルスプラザ、セキショウチャレンジスタジアム、スポーツフィールド)の維持管理を行う。				事業の概要	-				正職員	0.50人	0.50人	0.50人	
時間外勤務					ISO 14001	H28環境関連性	-	-	H29環境関連性	-	-	-	時間外勤務	15.00時間	20.00時間	20.00時間			
臨時職員等													臨時職員等	無	無	無			
事業コスト(A+B)													事業コスト(A+B)	90,895千円	94,523千円	95,516千円			
H30年度当初積算根拠													H30年度当初積算根拠	-	-	-			
H30年度の方向性													H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	224,467千円	300,699千円	288,592千円	0千円
	総人件費	11,278千円	23,704千円	23,025千円	
	総事業コスト	235,745千円	324,403千円	311,617千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	施設管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	02	11	体育施設維持管理に要する経費

事務事業名		03 体育施設耐震化事業		指標名	体育施設の耐震化率				指標種別	成果指標		指標の概要	昭和56年以前に建設された建築物の耐震化率					
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
実績		-			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%							
総合戦略		- - - -		H28年度				H29年度				その他の指標	-					
改善目標		-		新耐震基準を満たしていない2体育施設の耐震化				改善目標 平成29年度からは、「体育施設維持管理事業(グラウンド・テニスコート・柔剣道場・体育館)」事務事業に記載します。										
個別計画		つくば市耐震改修促進計画		事業計画				事業計画				事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
根拠法令等		-		事業計画				事業計画				事業費(A)		0千円	41,402千円	0千円	0千円	
事業分類		E 補助金・負担金事業		活動実績				活動実績				内訳		国庫支出金	0千円	4,130千円	0千円	0千円
執行体制		職員のみ		成果				成果				地方債		0千円	27,700千円	0千円	0千円	
事業の目的		市民が使用する体育施設の安全性を確保するとともに、災害時の避難場所としても活用するため。		課題				課題				その他特財		0千円	2千円	0千円	0千円	
事業の概要		体育施設において、つくば市耐震改修促進計画に基づき、昭和56年改定の新耐震基準に沿った耐震化を行う。		事業の進捗状況				事業の進捗状況				一般財源		0千円	9,570千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H28環境関連性		評価				評価				人件費(B)		14千円	3,690千円	0千円		
		H29環境関連性		有効性				有効性				正職員		0.00人	0.50人	0.00人		
				効率性				効率性				内訳		5.00時間	10.00時間	0.00時間		
				総合評価				総合評価				臨時職員等		無	無	無		
				B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				H30年度当初積算根拠				事業コスト(A+B)		14千円	45,092千円	0千円		
								H30年度当初積算根拠				理由		-	-	-		